

「女性の胸の大きさとその女性に対する抱かれるイメージの関連性」(仮称)に係る計画書

変態学研究所

1. リサーチの背景

世の中の男女にとって女性の胸の大きさは重要な関心事項である。これは学术界でも同様であり、女性の胸の大きさとその女性の魅力やイメージについてこれまで多くの研究が行われてきた。それらの研究で示されてきたことは以下の2点である。(1) 中くらいの胸が最も魅力的と判断される。言い換えれば、胸の小さな女性や極端に胸の大きな女性は魅力的とは判断されにくい (e.g., Swami & Tovée, 2013)。(2) 胸の大きな女性はネガティブなイメージないし偏見にもさらされる。たとえば、胸の大きな女性は知性が低いというイメージを持たれやすい (Kościński et al., 2020)。

他方、先行研究で検討されていない点として以下の2点が挙げられる。(1) これまでの研究は西欧圏で行われたものがほとんどであり (e.g., Kościński et al., 2020)、これらの研究で得られた知見が日本に当てはまるかは検討されていない。(2) これまでの研究では実在の女性の画像あるいは実写風の「リアル」な女性の画像についてしか検討がなされていない。日本においては、海外からは「Hentai 文化」などと呼ばれるような、デフォルメされた女性像(アニメ)が広い市民権を得ている。そしてその中では、胸が極端に大きい「奇乳」と呼ばれるような女性キャラも少なくとも一定程度は受け入れられているように思われる。このような事情を考えると、アニメ風の女性についても先行研究と同様の知見が見出されるかは検証を必要とすると思われる。

2. リサーチの目的

本リサーチは、胸の大きな女性に対してどのようなイメージが抱かれるかを検討することを目的とする。なお、その際には、実写風の女性画像とアニメ風の女性画像を用い、これらの画像の間でどのような違いが見られるかを比較する。

3. 用いる手法

胸の大きさを段階的に変えた実写風の女性の3D画像とアニメ風の女性の3D画像を提示し、提示されたイメージがどの程度各女性に当てはまるかを尋ね、得られた結果を統計的に分析する。

4. 期待される利益

- ① (もし胸の大きさによるネガティブなイメージが見出されたとすれば) そのようなイメージの存在を明らかにすることで、偏見を低減させる働きかけの必要性を示唆することができる。

- ② 女性の胸の大きさに関して欧米諸国で得られた知見が日本にも当てはまるのかが明らかになる。
- ③ これまで実在あるいは実写風の女性画像に関して得られた知見がアニメ風の女性画像にも当てはまるのかが明らかになる。

5. 今後の計画

11月～12月中旬：調査を実施

12月下旬：分析を実施，報告書を執筆・公開

引用文献

- Kościński, K., Makarewicz, R., & Bartoszewicz, Z. (2020). Stereotypical and actual associations of breast size with mating-relevant traits. *Archives of Sexual Behavior*, *49*, 821–836.
- Swami, V., & Tovée, M. J. (2013). Men's oppressive beliefs predict their breast size preferences in women. *Archives of Sexual Behavior*, *42*, 1199–1207.